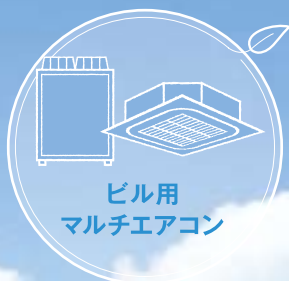


空気の熱で、 CO₂を半分に。

ヒートポンプ技術は、空気の熱を上手に活用しています。



日本が誇る革新技術、「ヒートポンプ」を世界の空調・給湯へ。

地球温暖化を防ぐためには、CO₂排出量を大幅に削減する必要があります。CO₂を出さない原子力や高効率な火力などをバランス良く組み合わせた電源のベストミックスによる環境性に優れた「電力会社の電気」と、高効率な「ヒートポンプ」を組み合わせることで、燃焼式に比べてCO₂排出量を半減することができます。

●ヒートポンプのCO₂削減ポテンシャル

国内の冷暖房や給湯、100℃未満の加温・乾燥などをすべてヒートポンプで代替した場合



ヒートポンプ導入による削減効果は国内CO₂排出量の10%に達します。

出典：(財)ヒートポンプ・蓄熱センター試算

EUでは「空気の熱」を再生可能エネルギーと定義

「再生可能エネルギー推進に関するEU指令案(2008.1.28)」において、一定効率*以上のヒートポンプによる空気熱利用量が新たに再生可能エネルギーと定義されました。

*欧州ECOラベル基準
ex. 暖房 (air/air) COP2.9、冷房 (air/air) COP3.2

電気のこと、省エネルギーに関する情報は、東京電力のホームページをご覧ください。

www.tepco-switch.com/biz



空気の熱を上手に使おう

チーム・マイナス6%